

研究機関:広島大学

研究課題名 血流依存性血管拡張反応(FMD)検査と腸内細菌叢の代謝物(TMAO)との関係に関する研究
研究責任者 未来医療センター センター長 東 幸仁
研究期間 2018年10月17日(承認日)から2026年12月31日(解析期間等含む)
対象者 2017年1月から2025年12月の間に広島大学循環器内科でFMD検査と血液検査を受けられた患者。
意義・目的 腸内細菌叢は、様々な疾患と関連していると報告されており、動脈硬化とも関連があるといわれています。腸内細菌叢の代謝物である TMAO の血中濃度が高いと心血管病の発症リスクが高いことが報告されています。動脈硬化の初期段階には血管内皮機能の障害が起こることが知られています。血管内皮機能を臨床的に検査する方法として FMD 検査が広く行われています。今回、TMAO の血中濃度と FMD との関係性を調べることを目的とします。
方法 当院で FMD 検査を受けられた患者さまから採取され、保存されている血液から TMAO の血中濃度の測定を試みます。診療録(カルテ)情報をもとに、患者背景を調査します。 ○利用する情報 年齢、性別、身長、体重、BMI、血圧、総コレステロール、中性脂肪、HDL コレステロール、LDL コレステロール、HbA1c、血糖値、クレアチニン、尿素窒素、尿酸、心血管病の有無、治療歴、治療薬、生活習慣など。
共同研究機関 ありません
資料・情報の管理責任者 未来医療センター センター長 東 幸仁
個人情報の保護について 調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をおかけすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口 〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel:082-257-5802 広島大学 未来医療センター 東 幸仁